



特定非営利活動法人
子どもの村福岡を設立する会
発行日 2007年7月10日
発行責任者 満留 昭久
〒810-0042 福岡市中央区赤坂 2-3-1 2F
Tel/fax 092-737-8655
E-mail fukuoka@cv-f.org URL http://cv-f.org

MOKUJI

日本ではじめて! 「子どもの村」 1P
 後援会ができました 2P
 第1期研修はじまる 3P
 広がる支援の輪 4P

日本ではじめて! SOSキンダードルフ「子どもの村」 設立の準備 福岡ですすむ

世界に広がるNGO、SOSキンダードルフの理念を受け継いで設立された(特)「子どもの村福岡を設立する会」は、この7月1周年を迎えます。

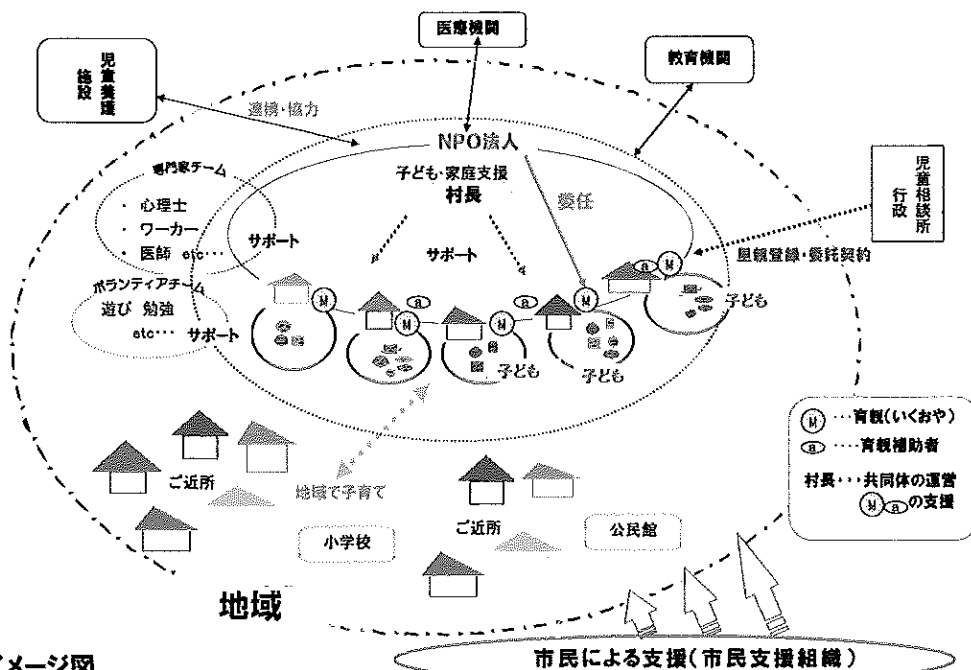
この間、子どもをめぐる悲惨な事件は絶えることなく、私たちに大きな衝撃を与えた「赤ちゃんポスト」の例に見るような「家族と暮らせない子どもたち」が増え続け、このような状況におかれた子どもたちの社会的養護への関心が高まっています。

このような中で、子どもの村福岡では、「すべての子どもに家庭を」のスローガンを掲げるSOSキンダードルフの理論に注目し、日本の条件に合ったプログラムにするための研究を進めるなど、福岡における「子どもの村」設立に向けての準備を進めてきました。

「子どもの村」では、育ての親(育親)との間に「新しい愛着の絆」を築き、それを基盤として、その育ちを地域と社会全体で支えていこうというものです。

「愛着の絆」、「永続的な支え」、そして「子どもの権利尊重」を核としたプログラム、「育親」を支える専門的な支援体制が子どもの村の特徴です。8月からは「育親」と「サポーター」を目指す人のための研修講座がはじまります。

6月には地元経済界を中心とした「後援会」が発足し、社会的支援を呼びかける動きも本格化してきました。福岡でのこの動きは、「新しい社会的養護」の先駆けをなすものとして、全国的に注目を集めています。



子どもの村福岡 イメージ図

地元経済界を中心とした 後援会ができました 市民・企業の協力で「子どもの村」実現を呼びかけ

地元経済界を中心とした後援会設立総会が、6月19日福岡市内で開かれました。設立総会には、福岡商工会議所やコカ・コーラウエストホールディングスをはじめとした7企業2団体、子どもの村福岡を設立する会のメンバーなど30名が集いました。

後援会長に就任した、九州電力の松尾新吾会長は、「虐待や育児放棄、赤ちゃんポストまで設置されるという、子どもを取り巻く悲惨な状況に、居ても立ってもいられない気持ちで参加しました。時を得た日本初の意義ある事業を成功させるためにも、同じ思いの人々へ輪を広げていきましょう」と挨拶されました。

総会では、2009年の開村にむけて今後の動きなどが議論され、子どもの村福岡を設立する会への支援会員の呼びかけやチャリティコンサートへの協力などの事業計画、役員が決定されました。事業の具体化にむけては、後援会理事企業を中心とした実務者による「企画会議」が設置され、進めていくことが確認されました。

地元経済界を中心としたこの動きは、マスコミ関係者からの注目度も高く、新聞各社、地元テレビ局など10社を超える取材陣が詰めかけました。

設立総会の後、子どもの村事務局には夕方のテレビニュースや、新聞報道で知った市民や行政関係者からの問い合わせが殺到し、終日電話のベルが鳴り響き、たくさんの応援メッセージをいただきました。

後援会役員紹介

(敬称略)

- 会長 松尾 新吾 九州電力(株)代表取締役会長
- 副会長 田尻 英幹 福岡商工会議所 会頭
- 副会長 末吉 紀雄 コカ・コーラウエストホールディングス(株)代表取締役 CEO
- 理事 石原 進 九州旅客鉄道(株)代表取締役社長
- 理事 河部 浩幸 (株)九電工 代表取締役会長
- 理事 川原 政孝 (株)ふくや 代表取締役社長
- 理事 利島 康司 (株)安川電機 取締役社長
- 理事 中村 量一 学校法人中村学園 理事長
- 理事 林田 スマ 大野城市まどかびあ・男女平等推進センター所長



設立発起人のあいさつに立った後援会長の松尾氏



6月15日付
西日本新聞

■□「子どもの村」設立に専門家は・・・
柏女霊峰(かしまい・れいほう)

淑徳大総合福祉学部教授(児童福祉論)の話
収容過多で子ども本意の子育てが困難な施設養護と、孤立しがちで専門性も低くなりがちな里親による養護双方のデメリットを克服できる新たな試みで、評価できる。親と暮らせない子どもを取り巻く背景は多様化しており育親やスタッフの育成と研修の体制をどう整えていくかが課題になる。

育親・サポーター養成 第1期研修 参加者募集はじまる

子どもたちに直接関わって養育を担う人材の養成は、「子どもの村」のプログラムの中でも最も重要です。第1期研修では、「育親（いくおや・育ての親）」をはじめ、育親補助者、ボランティアスタッフの希望者を対象としますが、まずは、関心のある方はどなたでも歓迎です。研修は、第1期研修、第2期研修、実践研修と進み、しだいに「育親」候補者へと選ばれていきます。

子どもの村福岡が行う主な研修内容は・・・

- ①「子どもの村」福岡について
- ②子どもの権利について
- ③子どもの発達、心理、教育について
- ④被虐待児やトラウマを持つ子への関わりについて
- ⑤「育親」の役割と里親制度、法制度
- ⑥家庭経営、食育について
- ⑦文化・創造体験
- ⑧コミュニケーション能力の向上
- ⑨他の子どもの村、施設などでの実習や演習（一例）

『育親』とは・・・

「子どもの村」で直接子どもの養育にあたる人を『育親』と呼びます。3～6人の子どもたちの母親（父親）としてともに生活し、その子どもが自立するまでの家庭を形作ります。また、『村長』や『育親』の同僚、専門家によるサポートグループとの協力関係を築きます。子どもたちに愛情を持って関わり、子どもたちが原則18歳になるまで、養育の専門家として子どもたちを育てていきます。

第1期研修プログラム（2007年8月～11月）

	日時・場所	研修内容	講師
第1回	8月19日（日） 10:00～16:00 福岡市福祉プラザ	①子どものいのち・生活・発達をめぐって （子どもの「危機」と児童福祉の課題） ②“えがお館”から見える子ども達 （社会的養護の現状と課題）	渋上 継雄 （子ども・福祉総合研究所） 藤林 武史 （福岡市子ども総合相談センターえがお館所長）
第2回	9月16日（日） 10:00～16:00 福岡市こども総合相談センター	①日本の児童擁護と諸外国から学ぶもの ②「SOSキンダードルフ」と 「子どもの村福岡」の目指すもの	津崎 哲雄 （京都府立大学福祉社会学部教授） 坂本 雅子 （小児科医）
第3回	10月27～30日 （3泊4日）	ベトナムSOS子どもの村視察（希望者のみ） ホーチミン周辺のSOS子どもの村（2ヶ所）及び、関連施設（幼稚園、学校など）	
第4回	10月20日（土） 10:00～16:00 福岡市こども総合相談センター	①子どもの権利擁護を実践するために ②子どもの発達と愛着の絆	松浦 恭子（弁護士・女性協同法律事務所） 満留 昭久（福岡国際福祉医療学院院長）
第5回	11月4日（日） 13:00～17:00 クローバプラザ （JR春日駅前）	…市民公開フォーラム… ■プログラム ・講演Ⅰ「子どもが求めているもの ～子どものこころの居場所～」 講師：村瀬 嘉代子（臨床心理士・大正大学大学院教授） ・講演Ⅱ「子どもの社会的養護—日本のこれから」 講師：柏女 霊峰（厚労省「今後目指すべき児童の社会的養護に関する構想検討会」委員長）	

■お問合せは事務局までお願いいたします。

広がる支援の輪 ～さまざまなアイデア～

「竹澤恭子&南紫音チャリティーコンサート」

ニューヨーク在住の竹澤恭子と北九州市出身の若手バイオリニスト南紫音を迎え、日本音楽財団の特別協力を得て、バイオリンの最高峰といわれる名器、ストラディバリウスの音色をお届けします。

開催日：2008年3月25日（火）

会場：アクロス福岡 シンフォニーホール

主催：チャリティーコンサート実行委員会

・ウィーン倶楽部 ・TVQ九州放送

・(特) 子どもの村福岡を設立する会

特別協力：日本音楽財団

協力：日本財団 アクロス福岡



「YASUKAWA未来クラブ」

安川電機では、創立 90 周年記念事業の一環として、「YASUKAWA 未来クラブ」を発足させ、活動を開始しました。これは、社会貢献することに賛同し、自発的に入会した安川電機の社員・グループに所属する皆さんから、給与の一部（千円以下の端数）を継続して拠出してもらい、集まった資金を医療・福祉、青少年の健全育成、環境保護・緑化運動などに役立てていこうというものです。ひとりひとりから拠出される金額はささやかでも、多くの社員のみなさんが参加することによって、大きな金額になり社会に役立てるのではないかと思います。「子どもの村福岡を設立する会」の趣旨に賛同いただき、団体支援会員としてご参加いただきました。

「チャリティー自販機の設置」

「子どもの村福岡」設立支援事業として、千鳥饅頭総本舗のご協力により本店をはじめ、福岡県内の同社直営店 15 ヶ所にチャリティー自販機が設置されました。自販機は、コカ・コーラウエストジャパンからの無料貸与によるもので、収益金のすべてを「子どもの村福岡」の設立に寄付されるというものです。同社では今後も設置台数を増やしていく予定です。

第2年度総会のご案内

日時：2007年8月11日（土）
13:00～15:00

会場：福岡市婦人会館あいでふ大研修室
(福岡市中央区舞鶴 2-5-1)

- ・2006年度事業報告・決算報告
- ・2007年度事業計画・収支計画

あなたも子どもたちのサポーターに！

皆さまのご協力をお願いします・・・・・・・・

■プロジェクトには、多くの資金とさまざまな力が必要とされています。どんな小さなご寄付も子どもたちを支える力になります。子どもたちが元気に成長していけるよう、会員として支えて下さる方を募っています。

■支援会員として・・・

サポーターとして継続的に支えてくださる方です
年会費 個人 一口 10,000円、3,000円

団体 一口 50,000円、30,000円

事務局（Tel/Fax：092-737-8655）までご連絡
いただけましたら資料お届けします。

■リーフレット、募金箱、名刺型ミニカードなど、子どもの村を知っていただくツールができました。置いて下さるところをご紹介下さい。

この他にも「子どもの村」の活動をより多くの皆様に知っていただくためのアイデアがありましたらぜひ教えてください。

